

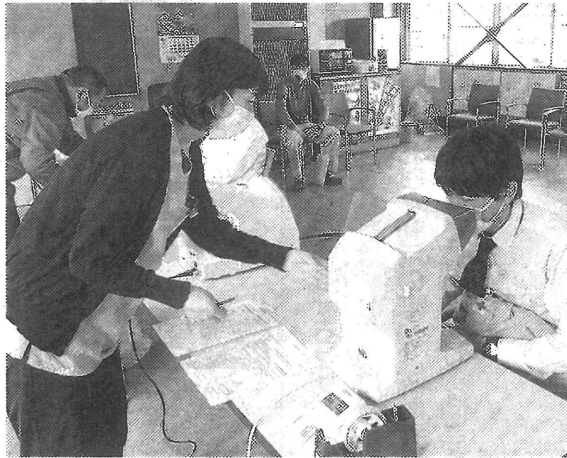


2023年(令和5年)  
4月5日  
水曜日

空調や給排水など設備工事を手掛ける藤原工業(本社四日市市塩浜本町3の45、藤原和彦社長、電話059・345・3151)は、健康経営の継続が経営面にプラス効果をもたらしている。「社内に活気が出て、人手不足の中でも20代の若手社員の採用につながっている」(井内永知子経営企画室長)。日本健康会議が認定する「健康経営優良法人2023」では、中小規模部門の上位法人「ブライツ500」に選ばれた。(四日市)

同社は、公共施設や病院・福祉施設、商業施設などの空調や換気、給排水設備、上下水道工事の設計施工を展開する。健康経営優良法人は20年から4年連続で認定されており、ブライツ500は初めて。具体的な取り組みでは、麻疹、風疹、水痘、ムンプスの抗体

設備工事の藤原工業 健康経営優良法人「ブライツ500」に



検査を会社負担で全社員が受けて、抗体値の低い社員はワクチンを接種した。社内に設置している飲料自販機では、野菜ジュースやヨーグルト、機能性飲料を充実。自社に検診車を招いて実施している健康診断では、協力会社にも参加を呼び掛けている。協力会社は一人親方や小規模事業者

が多く、好評を得ている。健康診断では、4種の腫瘍マーカーやピロリ菌検査も受けられるようにした。女性特有のがん検査は、就業時間内で受診できる。

メンター制度も取り入れている。入社10年程度の中堅社員がメンターとなり、入社3年目までの社員を対象にマ

手厚い健診やメンタル支援で

ンツーマンで技術的な指導から心理面のフォローまで行う。メンタルヘルス対策にも役立っており、今後、入社年が近い先輩がフォローするブラザー制度の導入も検討している。

こうした取り組みにより、健康意識の高まりと、従業員満足度の向上につながっている。従業員数は今春入社含め25人。毎年新卒を採用しており、20代が12人とほぼ半数を占める。

社内に活気、採用も好転

藤原和典専務は「ブライツ500という形で当社の継続的な健康経営の取り組みが評価されたことをうれしく思う。今後も従業員に安心して長く働いてもらえる企業として、できるサポートを引き続き行っていきたい」と話している。

▲本社で実施する健康診断は、協力会社にも参加を呼び掛けている



健康経営優良法人ブライツ500認定証を持つ藤原専務